

平成 29 年度 施策評価表

施策	1301	農業の生産性の向上と販路拡大	施策推進担当部	産業振興部
施策の方針	省力化機械の導入や地域特性に応じた農産物の振興を行うことで、生産性の向上に取り組む。また、農産物のブランド化と販路拡大や6次産業化等を推進する。			

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 農業産出額（年間）	千万円	374	392 660	399	406	413	420	168.4%	157.1%
② 新たにブランド化した農産物の品数	品	—	0.0 0.0	1.0	2.0	3.0	3.0	—	—
③ 農業イベントへの年間参加者数	万人	2.5	2.7 2.6	2.7	2.8	2.8	3.0	96.3%	86.7%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①農業産出額は、畜産物を除き660千万であった。
 ②新たにブランド化した農産物の品数は、0件であるものの、ブランド化しようとした農産物の品数は落花生とみかんの2品目であった。
 【ブランド化（＝ブランディング）の定義】
 生産者とその関係者に対し、ブランド作りから入るのではなく、顧客に対応して流通を変え、商品さえも変え、顧客との関係も組み替えることと考える。その結果として、顧客からの熱烈的な支持を集め、信用が拡大し、他ではない安心感、特別感へとつなげることがブランド化（＝ブランディング）であると定義した。
 ③農業イベントへの年間参加者数は、11月に屋外で実施された農業イベント「第2回海と大地の感謝祭」や「第15回牧場まつり」について、開催日当日の天候（雨天）が影響したこともあり、目標値を達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	64,785	70,017	119,016	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	29,754	36,337	62,454	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,842	2,901	2,901	
	一般財源	33,189	30,779	53,661	
	人件費	15,454	10,420	-	
	フルコスト	80,239	80,437	-	

施策の概要

130101	生産性の向上	生産性の向上を図るため、省資源型施設や省力化機械の導入などによる生産コストや労力の低減などに努めます。また、地域の特性に応じた農産物の生産振興や、品質向上・多収量化などに取り組めます。
130102	農産物のブランド化と販路拡大	農産物のブランド化を推進するため、生産者、JA、行政が連携し、品質向上に取り組むとともに、集出荷施設や選果（花）施設の整備による流通体制の強化を図ります。また、市場調査や積極的なPRを展開することにより、新たな販路の拡大に取り組めます。
130104	地産地消の推進	JAや直売所などの関係団体と連携したイベントを通じて、地元農産物のPRを行い、生産者と消費者の「顔が見え、話ができる」関係を構築し、地産地消を推進します。
130105	都市交流型農業の推進	農村地域の活性化や農村環境と景観の保全を図るため、地域資源を活かした農業体験や農家民泊などのグリーン・ツーリズムを推進します。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>①生産性の向上については、市の主要品目であるいちご、にんじん及びトマトなどの野菜のほか、みかん、カーネーションなどについて、労力軽減のための施設整備とともに、今後も高品質化や多収量化などへの取組に対し支援する必要がある。</p> <p>②6次産業化の推進については、黒田五寸人参やみかんなどを原料とした加工品開発に取組むことにより、推進していくこととしている。</p> <p>③農産物のブランド化や地産地消を目的とした取組については、生産者及び生産者団体と消費者との関係を積極的に構築する必要がある。</p> <p>④都市交流型農業の推進については、グリーンツーリズム推進協議会のほか、松原そばの会やえびねの郷などの地域資源を活かす取組を支援する必要がある。</p>
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>①生産力の向上については、今後も引き続き高品質化や多収量化などへの取組に対し支援する。</p> <p>②6次産業化の推進については、産業支援センターなどと連携し、加工品開発のために必要な費用に対し助成することを検討している。</p> <p>③農産物のブランド化について、生産者及び生産者団体と消費者との関係を積極的に構築するため、意見交換会の開催などを実施していく。</p> <p>④グリーンツーリズム協議会が実施している外国人受入や農業体験受入のための活動に対し、支援していく。</p>
---	---

平成30年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	施策推進担当部意見のとおり	
<p>《特記事項》</p>		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<p>《特記事項》</p>		